

# おうちで本を その6 開いていますか？



あなたには大好きな絵本や本がありますか？ 何度でも読み返したくなる本には何があるのでしょうか。心が落ち着く、気持ちが楽になる、楽しく元気になれる、などいろいろな理由があるでしょう。

1冊の本との出会いが、私たちに日常では体験することのできない経験を与えてくれます。普段は感じない事柄を気づかせてくれます。感じさせてくれます。そして、本を読むことで得た数多くの経験や感動が、日々の生活の中でのかけがえのない財産になってゆくのです。

子どもに読書を進めるには、まず**大人が本を読むこと**です。大人が楽しそうに本を開いて見ていると、子どもも近づき一緒に見入ってきます。子どもが本に出会うには、**大人の手**が必要です。いつも身近なところにわかりやすく、子どもがひとりで取り出せるところに本を置いてください。読み聞かせをしたり、本について語り合う時間を作っていきましょう。

子どもたちが、より多くの本と出会えるように、また大人も豊かな読書が続けていけるように心がけてみませんか？

今回は冬に読みたい本と、子どもが主人公の、**推理・探偵読み物**を紹介します。

## 冬の遊び



題名/おしくら・まんじゅう  
さく/かがくいひろし  
出版/ブロンズ新社

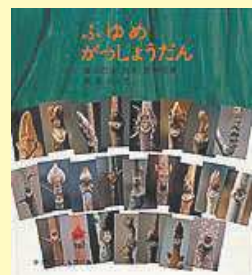
いたすら紅白まんじゅうが、おしくらまんじゅうをします。登場する愉快的なキャラクターと予想外の展開に大人も楽しめます。



題名/なわとびしましよ  
作・絵/長谷川義史  
出版/学研教育出版

だけしくん、おじいさん、おばあさんと次々入って、みんな仲良くペタンペタン。魚屋さんもうどん屋さんも仲良く、ペタンペタン。そして…

## 写真絵本で楽しんで～♪



題名/ふゆめ がっしょうだん  
写真/畠成忠男・茂木 透  
文/長 新太  
出版/福音館書店

冬の公園や林の木の枝先を見てごらん。愉快的な木の芽が楽しく歌っているよ。ちょっと外に出てさがしてみよう。



題名/だって 春だもん  
写真・文/小寺卓矢  
出版/アリス館

温かい日差しがやってくると、小さな木の芽も春の訪れを喜んでいます。冬の芽が春の訪れを感じて成長しています。

## 詩を読む（美しい日本語を感じてみましょう）



題名/しずかな おはなし  
ぶん/サムイル・マルシャーク  
え/ウラジミル・レーベデフ  
やく/うちだりさこ  
出版/福音館書店

静かな森の中のはりねずみの一家のおはなしです。心をこめた詩に、味わい深い絵。ロシアの代表的な絵本です。



題名/月夜のみみずく  
詩/ヨーレン  
訳/くどうなおこ  
絵/ショーエンハール  
出版/偕成社

月夜の雪の森で、わしみみずくに会った少女の胸の高鳴りと大自然との交流を描いた詩の絵本です。詩人 工藤直子が素敵な日本語に訳しています。

## 季節を感じる



題名/サンタクロースと小人たち  
作/マウリ・クナナス  
訳/いながきみはる  
出版/偕成社

北欧の村で大勢の小人たちと一緒に生活し、プレゼント作りに励むサンタの一年間がとても楽しく描かれています。



題名/きつね森の山男  
作/ 馬場のぼる  
出版/こぐま社

寒がりやのお城の殿様が、きつねのコートを作るために森にきつね狩りにやってきます。きつねを守るために、山男が行ったことは…

## 推理・探偵読み物（この2冊はシリーズ化され、いろんな事件に遭遇していきます。）



題名/ムジナ探偵局  
作/富安陽子  
画/おかべりか  
出版/童心社

ムジナ探偵と少年源太の迷コンビが、不思議な事件を次々と解決していきます。



題名/ そして五人がいなくなる  
名探偵清水清志郎事件ノート1  
作/はやみねかおる  
絵/村田四郎  
出版/講談社 青い鳥文庫

食事をとることも忘れる変な名探偵が引っ越してきた。亜衣、真衣、美衣の三つ子の姉妹と清志郎探偵の謎解きミステリーが始まります。

※橋本市家庭教育支援チームでは、「家庭読書班」を編成しており、「家読」に関する講座を展開しています。お問い合わせは、教育委員会 家庭教育支援室まで (TEL 33-1111 内1381)